

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心 会 発行

8年子山船 逗葉大合	2月現 地地区計	員数 168名 211名 45名 424名	8年2月 発岸 根編 集 中 村 岳	(283号) 者 萃 者 愛
---------------	-------------	-----------------------------------	-----------------------------	----------------------

行事予定

○碩心会春期審査会

日時・3月3日(日)9時30分受付

会場・逗子市立図書館ホール

審査料・千円(各支部毎まとめ当日迄に)

許証料・3月26日迄に納入

○第2回全国優秀吟者吟道大会

日時・3月24日(日)

会場・九段会館ホール

○第1回県本部年齢別吟詠大会

日時・5月25日(土)、26日(日)

会場・平塚農業会館

参加料・県登録会員で60才以上(除総伝)

参加料・二千円(含昼食代)

申込・各地区長を通じ3月20日迄に

松井正岳迄

その他・吟題、その他は指導者に問合せ。

総伝認許

(8年1月1日付)

(岳夕)山口ハツエ (岳宝)松野 太蔵

(岳静)根岸シツ子 (岳悦)矢嶋 悦子

(岳澗)村田 澄枝

おめでとうございます。益々の御精進を。

根岸岳静さん、おめでとうございます

根岸岳静さん、金マークの最高位の許証を手にされ、さぞかし感慨深いものがあるうかと思えます。

御主人共々、手をたずさえて仲よく勉強されていましたが、途中御主人に先立たれました。しかし、その悲しみを乗り越えて続けてこられた幾春秋。その努力を知る者として、深く敬意を表します。

現在は70才以上の方は書取りが免除になりましたが、当時は全員挑戦。根岸さんも80才を超えての勉強。便箋を買ってきて、毎日毎日一枚づつ丁寧に練習。審査の日には残り二、三枚になっていたとか。その話を聞いた時、その熱心さに涙が出ました。折々皆さんにも紹介しましたが、その努力が今実ったわけですから。

又、来る5月1日に根岸さんは88才の米寿を迎えられます。併せて心からお祝い申し上げます。現在もお嫁さん(根岸啓風)と仲よく吟道に励んでいられます。益々の御健康を祈ります。

よき師、よき友に支えられ

総伝許証を受く

矢嶋 岳 悦

阪神大震災、サリン事件等々、心暗いニュースが続いた七年が終り、平成八年末広の縁起のよい年を迎えました。

1月28日、県本部初吟会の席で、この度総伝の許証が授与されました。会長先生、先輩の諸先生、会員の皆様ありがとうございます。身之余る光栄と感謝しております。未熟ではございますが、総伝に恥ないよう、努力してまいる所存でございます。

昭和44年堀内支部に入会、よき師、よき友に恵まれ、挫ける心を吟道によって助けられ、今日迄まいりました。おかげ様で、堀内・F教場も、昨年15周年を無事すませ、会員20余名と共に、明日に向って励んでおります。

来年は碩心会も六十周年を迎えます。益々の会の発展と、皆様の健康を祈念いたします。先生方、今後共よろしく御指導、御鞭撻下さいますよう、お願い申し上げます。

総伝の重み

村田 岳 澗

総伝はまだまだ程遠い事だと思っておりますのに、この度許証を受け、ひしひしとその重みを感じております。

準師範をいただき指導を始めて十八年、最初の会員さん達は今も皆伝となり、私をどんどん越えてゆきます。その間、合吟コンクールにも何度か出させていただきましたが、私の力不足で、もう少しの処で涙をのむこともあり、又、他支部の方達の力を借りて全国大会入賞の喜びを共にしたこともありました。

盛年重ねて来らず

一日再び晨なり難し

時に及んで当に勉励すべし

歳月は人を待たず

年をとったものだと悔んでいても時は待つていてくれません。残り少ない日々を「一生感動」の気持を失わず、よき詩にめぐりあえ、これからも詩の心を表現することに力を入れたいと思っております。皆様に支えられ、年を忘れて今後もがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

快晴に恵まれた初吟会

大船A 山口 岳 夕

1月14日は碩心会初吟会の日。快晴に恵まれ、皆様の集まりもよく、会場は初吟会らしい雰囲気包まれ、お互いに「おめでとう」と、笑顔で言葉を交している風景は、なんともいえないよいものです。

今年は大船支部が当番ということで、暮から役員会を開き、打合せはしてきたけど、いよいよ当日となると緊張しました。

定刻、加藤岳洵先生の手慣れた司会のもと、第一部が開かれました。そして何より嬉しかったのは、今日この会場に、会長の根岸先生の姿を拝見した時です。年頭の挨拶につづき、吟も披露して下さった時は、出席者一同胸つまる思いで拝聴しました。今後の健康を心から祈りいたします。

盛りだくさんの第二部演芸も、芸達者な皆様に支えられ、無事終了いたしました。

企画部の皆様、又多勢の方達のお手伝いをいただきました真澄支部の皆様のおかげで、無事大役を果たすことができましたこと、心から感謝、御礼申し上げます。

初稽古に「梅」四題

庭の梅の蕾がようやくやくほころびはじめ、時折わが家の庭にも鳥がやってきます。その年はじめて聞く鶯の声を初音といい、鶯は別名春告鳥ともいい、梅と共に春の便りを告げてくれます。鶯のさえずりは早春の喜び：麗らかな春の陽ざしの待たるる今日この頃です。

そんな折、堀内D教室では早春にちなんで、教本の二巻から梅四題をとりあげました。そして偶々、平成4年3月岳風会から発行された「漢詩和歌訳名詩選」なるものを参考にいたしました。上記は、学院教本の監修者としてご尽力いただいた、故新田大作先生の御令室新田治子氏に依頼して、吟道研鑽の一助として、漢詩を現代語に訳したものです。

^{2/3} 新年雪裏の梅花に賦す 有智子内親王

春光初めて動けども寒猶緊し

一株の梅花雪裏に開く

宮中嬪娟の処を想像し

暗に知る黄鳥稍相催すを

// 初春の 光かがよふ 雪の朝

紅梅咲きて 鶯の鳴く //

^{2/16} 弘道館にて梅花を賞す 徳川 斉昭

弘道館中千樹の梅

清香馥郁十分に開く

好文豈威武無しと謂わんや

雪裡春を占む天下の魁

// 雪残る 春の朝を さきがけて

千本の梅 咲き匂ひたり //

^{2/29} 寒 梅 新島 襄

庭上の一寒梅

笑つて風雪を侵して開く

争わず又力めず

自ら百花の魁を占む

// 小庭こにわへの 寒梅咲けり 風雪に

耐えきし花の さきがけとなる //

^{2/83} 雪 梅 方 岳

梅有りて雪無ければ精神ならず

雪有りて詩無ければ人を俗了す

薄暮詩成つて天又雪ふる

梅と併せて十分の春を作す

// 詩成りて 雪降り出でし この夕べ

さ庭の梅も 咲きそろひたり

(岳愛 記)

頼もしい武道始式に参列して

1月10日(土)、新春恒例の武道始式が、葉山警察署に於て行なわれました。当日は署員の皆さんによる、日頃鍛えた柔、剣道の腕前発揮、又逮捕術、護身術等披露され、特に寸劇仕立ての実践逮捕術では、署員扮する警官役と、犯人役が大熱演、アドリブ等も入る芸達者ぶりに、会場は笑いと拍手につつまれ、招待の方達を大いに喜ばせてくれました。

そのあと、祝舞「祝賀の詞」を、舞中村京愛、吟沼田義岳により舞わせていただきました。現署長稲村義雄氏は、詩吟愛好家で、現在碩心会葉山地区の東伏見台支部に所属されていて、御多忙の中、熱心に吟道に励まれていられます。そんな中、新年早々武道始めに御招待いただき、頼もしい武道をみせていただき、非常に心強く、そして爽快な気分の日でした。(岳愛 記)

(俳句二題)

堀内・D 徳 本 華 風

白梅の寒波に耐ゆる凛々しさよ

探梅行一枝おさなき花開く

平成8年碩心会初吟会決算書

収入の部		支出の部		
摘要	金額	摘要	金額	備考
出席者数 会員 231名 特別参加 1名 計 232名				
会費 3,000円X231名 指導者より補助 指本部会繰り越し 前回は繰り越し	693,000円 30,000円 70,000円 6,900円	返子会館関係 会場費 210,000円 カラオケ 5,000円 消費税 6,450円	221,450円	
		お弁当代 1,400円 X 232	324,800円	みずほ
寄付 守谷白宮 白井田原 花店 環岳様 風店 様 様 様	3,000円 清酒 2本 ビール 2ケース 焼酎 3本	飲み物とつまみその他 ワンカップ茶 51,040円 ビール(大) 25,520円 つまみ 40,800円 清酒 64,960円 みかん代 7,560円 消費税 20,000円 ピン代 1,949円 消費税代 -4,269円	207,560円	220 X 232 110 X 232 6800 X 6 280 X 232 1890 X 4 4000 X 5
		余興参加費	10,000円	200人分
		プロ、名札、紙筆代	3,000円	
		会議費	5,000円	担当支部
		プロ、他コピー代	5,000円	
		通信連絡費	2,000円	
		消耗品費	1,100円	
		お茶代	6,000円	担当支部
		雑費	5,000円	
		残金	11,990円	
合計	802,900円	合計	802,900円	

残金 11,990円は次期に繰り越します。

企画部長 上村山 象岳 印
副部長 内山

- (訂正)
- 1月号月報「温習会」無心で吟ずる緊張感の投稿者名裕野孝風は、祐野孝岳の間違いでしたのでお詫びします。
- (入会)
- 436 大沼さだ子(籍) 横須賀市坂本町六―三〇 (吟 秀) ☎〇四六八―二四―三九六七
 - 437 依田 清子(韻) 横須賀市深田台九二 (吟 秀) ☎〇四六八―二二―一六四七
 - 438 大作 愛子(韻) 横須賀市坂本町六―三〇 (吟 秀) ☎〇四六八―二二―一六五九四
 - 439 曾根 清子(韻) 横須賀市西逸見三一―〇九 (吟 秀) ☎〇四六八―二四―一五九三〇
 - 440 風間フサエ(韻) 横須賀市坂本町六―三三 (吟 秀) ☎〇四六八―二四―一六二五九
 - 441 野邑 里見 横須賀市森崎六―三一六 (吟 秀) ☎〇四六八―三五―一八二八三
 - 442 大場 嘉江(音) 葉山町堀内一九六三―一七 (堀内・D) ☎〇四六八―一七五―一三七九三
 - 443 鈴木嘉代子 葉山町一色一八二―一 (堀内・D) ☎〇四六八―一七六―一三九八四
 - (退会) ☎〇四六八―一七六―一三九八四
 - 100 嶋村幸岳(銀 詠) 345 田中恵泉(一色A)